



「必要な情報を！必要な時に！必要な分だけ！」 入学説明会プログラムの効果的な活用を！



津山教育事務所では、「保護者の学び・交流の場」の充実を図るため、全ての保護者が集まる小学校・中学校入学説明会において、子どもの夢を応援する「夢育(ゆめいく)」の視点を取り入れたプログラムの活用を推進しています。昨年度までに管内の95校で自校教職員および家庭教育支援チームにより実施されました。本年度は、各校の実態に応じて、保護者同士・親子でより具体的に考えることができるように、4つのテーマから選んだり、組み合わせたりすることのできるプログラムとなっています。活用例をご紹介しますので、自校教職員および家庭教育支援チームによる積極的な活用をお願いします。

4テーマから選んで使う！

学校の現状や課題に合わせて、入学前に親子で考えたもらいたいプログラムを右のように4テーマを準備しました。**スライドと進行原稿を使いながら選んだプログラムをそのまま活用していただくことが可能です。**所要時間は15分程度ですが、スライドをアレンジして使用することも可能です。

スマホ・ネット・ゲームの使い方のポイント

- 1 つかう時間・場面を一緒に決める
(マナー、心身への影響、コミュニケーション能力等)
- 2 使い方を工夫する
(ついでに家、親子で会話、一緒につかってみる)
- 3 保護者が把握・管理する
(見守り、ペアレンタルコントロール等)
- 4 保護者がよいお手本となる
(自身のスマホ利用、本音に問題ありませんか?)

スマホ・ネット利用

自己肯定感について知ろう

自分自身に満足している
「自分には長所がある」
「自分は価値のある存在である」

家庭学習でここがレベルアップ！

【その1】 (授業) で習ったことが
もっとできるようになる！

【その2】 家に帰ってからの (時間) の
使い方が上手になる！

【その3】 (自主学習) は興味のあることを
とんとん学ぼう！夢へと近づこう！

主体的な家庭学習

非認知能力(点数化できない力)

自制心、思いやり、忍耐力、協調性、挑戦する力、コミュニケーション能力、やる気、向上心、粘り強さ

必要な資料だけ使う！

必要な部分だけを各校の入学説明会の説明スライドに加えて使っていただくことができます。



「学校のきまり」を説明するときに、**スマホ・ネット**についてもっと具体的に保護者に考えてほしいなあ…。



「学習について」説明するときに、**家庭学習について大切な視点**を保護者にもっと伝えたいなあ…。



「家庭へのお願い」をするときに、**非認知能力や自己肯定感を育むこと**の大切さについて具体的に触れてみようかなあ…。

組み合わせる！

選んで使える4つのプログラムは自由にアレンジして使うことができます。それぞれのプログラムのスライドの**必要な部分だけを切り取り、学校の意図に合わせて、簡単に組み合わせる**ことが可能(コピー&ペースト)です。

A 中学校

入学に向けて**スマホ・ネット**について考える機会をもってほしいけど、**家庭学習**のことも入学前の今のうちに少し親子で話す機会をもっておきたいなあ。

B 小学校

自己肯定感について保護者に考えてほしいけど、せっかくだから最近注目されている**非認知能力**についても少し知ってもらおう機会をつくらうかな。

コピー&ペースト

で簡単準備！
内容の量や配分も調整自由！

自分のスマホをもちますか？

	令和3年	令和2年
小学生	44.9%	42.0%
中学生	75.3%	71.8%
高校生	99.5%	99.0%

スマホ等を平日1日に3時間以上つかっている割合

小学生	18.9%	この時期にはまだ使っていない方が多いようです。
中学生	31.6%	
高校生	46.8%	「毎日使っている」

【スマホの所持率と使用時間】

めざせ！家庭学習名人！7つのポイント

- ポイント1 始めるときは「あれ、どうしよう」と悩まずに始める
- ポイント2 学習する場所は決めておく
- ポイント3 学習する時間は決めておく
- ポイント4 学習する時間は決めておく
- ポイント5 わからないときは、そのままにせず、家族・先生・友達に聞いてみる
- ポイント6 家庭学習の習慣をつけるために、準備・片付け・整理を怠らない
- ポイント7 スマホ・ネット・ゲームなどは家庭でルールを決めて使う

【家庭学習7つのポイント】

非認知能力の伸ばし方

非認知能力は「自分の意識だけで伸ばす力」

やってみよう！ やってみよう！

伸ばそうという本人の意識が行動に結びつくことが大切！

【非認知能力の伸ばし方】

自己肯定感を高めるためにできること

自己肯定感を高めるためにできること